

事業名	代表者所属	防府市青少年科学館
15KJ-019	代表者	館長 寺田 勉
サイエンスアカデミー2015	開催地	防府市
	助成金額	20 万円
活動概要		
<p>日時 平成 27 年 7 月 18 日～8 月 2 日</p> <p>場所 防府市青少年科学館</p> <p>対象 随時工作:4 歳～一般  Aコース: 4 歳～小学 2 年(親子で参加)  Bコース:小学 3 年～小学 6 年  Cコース:小学 5 年～中学 3 年</p> <p>参加者 5,309 人  内訳 (随時工作:2,569 人、  Aコース～Cコース:2,740 人)</p> <p>内容 講師に小・中学校、高等学校、大学等の先生方をはじめ、企業や博物館の皆様をお迎えし、科学の不思議さや楽しさを体感できる科学教室及び随時工作を実施。  科学教室: 42 種類、随時工作: 7 種類</p>		



〈ブラック・ウォールを作ろう〉



〈自分だけのカリンバを作ろう〉



〈-196℃の超冷たい世界体験〉



〈銀の結晶のしおりを作ろう〉

## 事業の目的・ねらい

防府市青少年科学館は、青少年の科学する心を育み、未来への夢や希望を抱かせるための体験型学習施設として、幅広い科学教育普及事業を行っている。

開館以来、夏休み期間中に多様な科学教室を実施するこのイベントは、前身の「おもしろサイエンス in ソラール」を含め、今年で 18 回目となった。科学実験や工作などをとおして、科学の不思議さや楽しさを体感していただき、科学に対する興味関心を掘り起こすことを目的に開催している。

今年の「サイエンスアカデミー2015」においても、小・中学生や幼児の科学的好奇心を刺激し、科学のおもしろさを知ってもらうことができる内容の教室を実施した。

## 事業の概要

講師に小・中学校、高等学校、高等専門学校、大学の先生方をはじめ企業や博物館の皆様をお迎えし、夏休み前半の 14 日間、幼児から中学生までを対象とした科学教室を開催した。事前申込みの必要な教室は、1 日 3 種類行い、A コースは 1 回 60 分で 1 日 5 回実施、B・C コースは 1 回 90 分で 1 日 3 回実施した。また、随時参加できる教室は、毎日 1 種類行った。

なお、参加者の対象年齢は、A コースが 4 歳から小学 2 年生まで、B コースが小学 3 年生から小学 6 年生まで、C コースが小学 5 年生から中学 3 年生までとした。

科学教室の内容は、次のとおりである。

7/18(土)	A:化石レプリカを作ってみよう! B:呼吸する生物とカタラーゼ	B:光の色の不思議を学ぼう 随時:とんでくるくる“紙コプター”
7/19(日)	A:ブラック・ウォールを作ろう B:電気を作ろう! 電気で遊ぼう!	B:メダカの観察・飼育に挑戦 随時:とんでくるくる“紙コプター”
7/20(月)	A:ランプシェードを作ろう C:体験! 入門! インバーダーゲーム	B:ガラスを使ってあそぼう 随時:色が見える!?“ベンハムのコマ”
7/22(水)	A:紙で作るバランスストンボ B:わくわく E スクール～モーターカーづくり～	B:コマ型日時計を作ってみよう! 随時:色が見える!?“ベンハムのコマ”
7/23(木)	A:鏡のふしぎ! 万華鏡を作ろう B:自分だけのカリンバを作ろう	B:とべ! ペットボトルロケット 随時:風でまわる!“くるくるかざぐるま”
7/24(金)	A:魚が潜る! 楽しい浮沈子づくり B:水面も OK! ホバークラフト	B:アロマキャンドルを作ろう!! 随時:風でまわる!“くるくるかざぐるま”
7/25(土)	A:リング磁石を使ったローブウェイ C:プログラミングで光を操ろう	B:フズリナ化石のキーホルダー 随時:プニョプニョ!“カラフルスライム”
7/26(日)	A:ビー玉ころころ C:DNA をさわってみよう	B:-196℃の超冷たい世界体験 随時:プニョプニョ!“カラフルスライム”
7/28(火)	A:じしゃくでネズミがクルクル C:UFO!? 空中に浮かぶリング	B:解明しよう! 化石のできかた 随時:とじてひらいて“紙からくり”
7/29(水)	A:水中エレベーターで遊ぼう C:魔法の光で作る光のオブジェ	B:調べよう! 海にすむマイクロ生物 随時:とじてひらいて“紙からくり”
7/30(木)	A:空気とあそぼう B:模型飛行機を作ってあそぼう	B:LED で光る花のオブジェ 随時:オープンで作ろう!“コップコースター”
7/31(金)	A:ふしぎなメガネを作って遊ぼう C:暗くなると LED が自動発光!	B:銀の結晶のしおりに作ろう 随時:オープンで作ろう!“コップコースター”
8/1(土)	A:のぼりむしを作ろう B:ポンポン船を作ろう!	B:羊毛フェルトで額絵を作ろう 随時:ふわふわとんでく!“かぶと虫グライダー”
8/2(日)	A:CD ホバークラフトを作ろう C:銅と金のめっき体験をしよう	B:岩石標本を作ろう! 随時:ふわふわとんでく!“かぶと虫グライダー”

## 結果及び効果

防府市青少年科学館では、開館以来、夏休み期間中に多様な科学教室を実施するイベントを実施しており、今年の「サイエンスアカデミー2015」では、14日間の会期中に7,201人の来館者を迎えた。そのうち、工作などへの参加者は5,309人で、その内訳は次のとおりである。

Aコース:1,259人 Bコース:1,166人 Cコース:315人 随時工作:2,569人

気軽に科学を体験できることもあり、毎年「サイエンスアカデミー」を楽しみにしていらっしゃる方も多く、当館では夏休み期間中の恒例事業となっている。もちろん、教科書や参考書などからも知識を得ることはできるが、実際に体験することによって、科学の不思議さ、楽しさをより一層感じることができ、参加者の感動も大きいことが、事業を継続できている一因であると感じている。

講師を引き受けてくださった先生方からは、子供たちの笑顔を見たり、子供たちから上がる歓声を聞いたりすることは大変充実感があり、また勉強になることも多いので、来年も参加させて欲しいとの声をいただいた。その他、ベテランの先生からは、「サイエンスアカデミー」の講師を経験することは勉強になるので、講師を固定化することなく、是非若手の先生にも声をかけて参加を促して欲しいとの意見もいただいた。

教室は、工作を中心に観察や体験、実験など多様な内容となるよう努力しているが、工作以外の教室の参加率が低く、工夫が必要と感じている。また、小学5年～中学3年を対象としたCコースの参加率もAコース及びBコースに比べて低くなっているため、内容や広報も含め、改善が必要である。

難しいと思われる科学を「やさしく、ふかく、たのしく」伝えることをモットーとしている当館にとって、「サイエンスアカデミー」は大切にしている継続事業である。今後も、子供達がわくわくし、夢中になれる内容を検討し、科学教育の推進とともに、地域とつながる交流の場ともなるような事業に育てていきたい。